

SHIN CLUB 211

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「河路アパートメンツ」撮影：齋部功

働き方改革

写真は、このたび中原街道の近くに建ち上がった多世帯住宅です。屋上にパーティールームをそなえた建物が、お客様の新たな暮らしの可能性を広げることでしよう。

ところで、設計の木下道郎氏の現場を担当するのがこれで2度目という現場監督のMは、思わぬ成長を見せて木下氏を喜ばせたのですが、それは一体なんだったのでしょうか？ 答えは次のページでお話しましょう。

もともとおとなしく、口数が少ないタイプのMですが、最近は施工管理面で進境著しく、現場終了後は、「こんなに？」と思えるほどの長い休暇を取りました。現場監督は、竣工間際には休みもままならないことが多いのですが、現場を終えたら自分をリフレッシュすることの大切さを身に付けたM、「大いなる成長」を周囲に感じさせたのでした。上司や設計者の先生からものづくりの楽しさ、建築の面白さを学ぶこと、そして「魅力ある職場」を作るには、自身の意識改革も必要なのだと改めて思います。

9月28日、衆院解散が決まり、「10月22日投票」という日程が発表されました。争点はいろいろ言われていますが、この5年間で、電通新入社員の過労死自殺などを受けて「働き方改革」という言葉が言われるようになったこともその一つです。働きすぎで、精神的にも追いつめられる若い人たち、また子育て中の共働き世帯への環境整備など、これまでの高齢者に重点を置いた福祉政策から、若い世代への施策の必要性が求められています。

実際、最近の建設業界では、「仕事はあっても、人がいない」というのが現状です。リーマンショック以後、厳しい受注状況による建設業就業者数の減少が続きました。もともと構造的に建設業界の年間総労働時間は全産業より2割長く、3K就職先として若い人たちから敬遠されてきました。

しかも建設業の技能労働者の約3分の1は55歳以上と高齢化が進み、次世代への技術継承も課題となっています（国土交通省調べ、2016年）。

以前から、建設現場は完全週休2日制を導入するよう、政府と業界団体の申し合わせがありましたが、規制緩和の進展で、公共工事も含め、ほとんどの現場が土曜日にも作業をするようになってしまいました。何しろ工期が大事なのです。弊社も隔週で週休2日制となっていますが、土曜日に現場が動いているところがもちろんあります。

政府は2019年導入を目指して「残業時間の罰則付き上限規制」を設けましたが、建設業については、人出不足が深刻なので、5年間の適用猶予としました。

しかし、新国立競技場の建設工事現場の若い社員が、違法な長時間労働が原因で自殺して、家族が労災申請したことから、8月28日、工事の発注者と受注者が守るべき長時間労働の是正に向けて指針をまとめました。週休2日制の確保、そして特に工期についての配慮を求めています。

「資材や労働力を調達したり、雨や雪で作業ができなくなりそうだった期間を考慮し、予定した期間内に工事を終えるのが難しくなれば、工期を変えるよう求め、下請けにも同様に工期に配慮する必要がある」としています。法的強制力はなく、なかなかすぐには難しい点もありそうですが、工期を守るためにいろいろな偽装事件が起きたりもしました。

これから発注する工事が指針の対象とのことですが、業界全体で行っていかなくてはならないことでしよう。

何にもまして、建設業は「ものづくり」の楽しさが最終的には仕事の原動力になります。その心を失わないようにしていきたいものです。

河路アパートメント

家族をつなぐ、屋上の多目的空間

敷地は、中原街道沿いの傾斜地で、上層階の3フロアが建て主とその親族の個々のスペースである。3つのフロアはそれぞれの家族のポリシーが活かされた注文住宅となっている。2階に賃貸住戸2戸、1階に駐車場を配している。

ファサードはコンクリート打ち放しの外壁に白い手摺が付いたバルコニーが、交通量の多い前面道路に近い2階はその手摺を閉じて、上層2層では真ん中を少しだけ切り取り、オープンにすることで状況に適合させている。

今回、多世帯が一緒に暮らすことの重要なキーとして、屋上の共有空間がある。このペントハウスは親族の「結びの領域」でもあり、それぞれの家族の「交流の場」でもある。うちの事務所の入る「二軒家アパートメント」(2003年竣工)のペントハウスは居住者、ご近所さん、大家さん、ときには私の教える学生まで巻き込んだ、交流の場として成長している。また別の夢を持つオーナーと意気投合して、小さな集合住宅ではなかなかできない空間が生まれたことがうれしい。

ペントハウス階には屋内から屋外へと続くリニアなデッキがある。途中で白いコンクリートのカルバートがあって、内と外の仕切りがその真ん中にある。ガラス扉を開くと内外が一体となり、閉めると区切られる縁側のようなものだ。デッキの屋外先端にはカルバートと同じ幅・高さのスチールのフレームがあり、屋外を内部化している。

屋内のデッキの床には竹の無垢フローリングを使って屋内を外部化している。カルバートと竹床との取り合いには、巾木を使わず床の間にコルクを入れた。このやっかいな納まりを、現場担当のM君はきちんと受けとめてくれた。かつて彼が担当してくれた富ヶ谷の集合住宅では、まだ若く頼りない面が見られたが、今回は建て主や近隣との関係を含め、設計者を安心させてくれる頑張りを見せてくれた。

ちなみに、今回の現場では全貌を把握するために全体模型を自前の3Dプリンターで作ったとのことだ。建築に面白さを感じ、仕事を超えて臨める気持ちが自信につながっている。自身が担当した富ヶ谷の集合住宅に自ら入居し、住み続けてくれているのもうれしい。

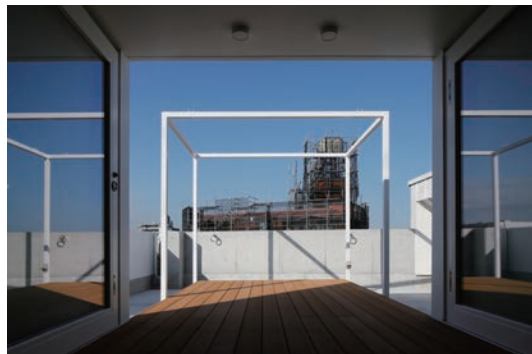
(木下道郎氏 談)



建物北側外観。中原街道と反対側の高台の方が建物入口となっている



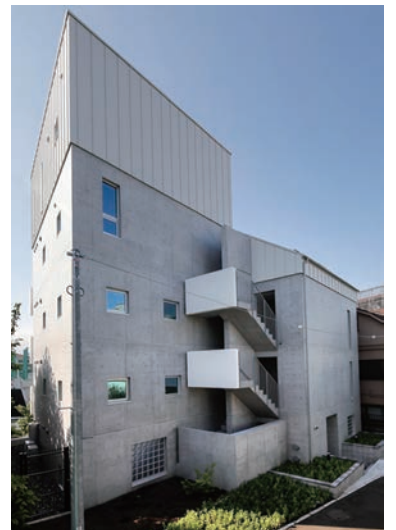
屋上デッキとスチールフレーム



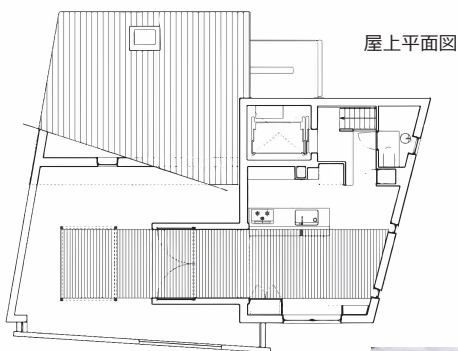
屋上カルバートから、外部を臨む



キッチン配した内部から、カルバート、外部デッキを臨む



建物北東側全景

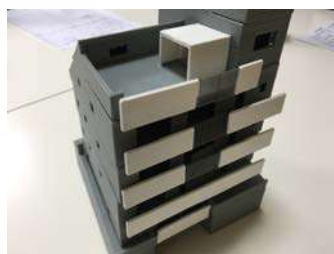


屋上平面図



5階バルコニー。オープンな部分から眺めは最高

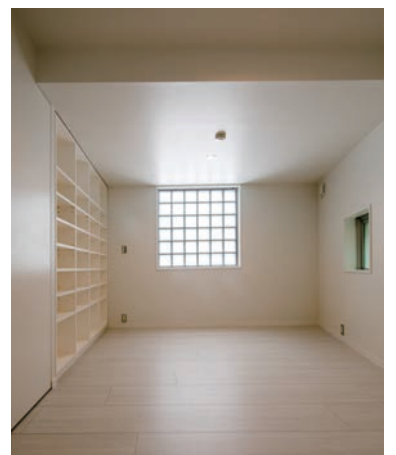
構造：RC造
規模：地上5階
設計・監理：木下道郎/ワークショップ
施工担当：村山
撮影：齋部功
(3D模型、フローリングの写真はワークショップ)



現場担当者Mの作成した3D模型



カルバートの竹床とコルクの取り合い



2階賃貸部分。ガラスブロックの窓

荒川技研工業ショールームオープニングイベントのお知らせ



さる9月25日に竣工した「荒川技研工業ショールーム“TIERS”」で10月16日(月)より22日(日)まで、「DESIGNART 2017」に合わせオープンイベントが開催されます。

“TIERS”は段状、層という意味の言葉。外部から内部へつながる大階段、途中階のテラス、パターンを用いたワイヤーのファサードにより、緩やかに街と連続する空間をつくり出しています。設計は、弊社2015年施工の『旭町診療所』で「千葉市都市文化賞2015」を受賞した田邊曜氏(設計協力:木下道郎/ワークショップ)です。

オープンにあわせて、アーティスト・野老朝雄、ファッションデザイナー・A.A.O 今北仁、アーティスト・四方謙一、及びExperimental Creations主催の若手デザイナーによる展示が行われます。

新ショールームの建築空間と多彩な展示を是非ご覧ください。



野老朝雄 ASAO TOKOLO <http://tokolo.com>

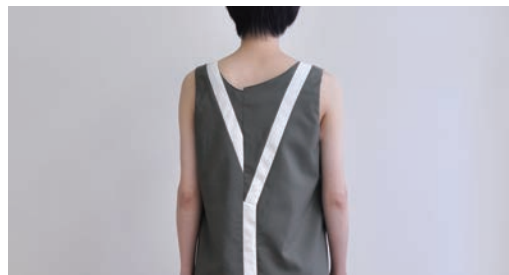
幼少時より建築を学び、江頭慎に師事。2001年9月11日より「繋げる事」をテーマに紋様の制作を始め、美術、建築、デザインの境界領域で活動を続ける。単純な幾何学原理に基づいて定規やコンパスで再現可能な紋と紋様の制作や、同様の原理を応用した立体物の設計/制作も行なっている。

主な作品に、名古屋ビルディング下層部ファサードガラスパターン、東京2020オリンピック・パラリンピックエンブレム、大手町パークビルディングのための屋外彫刻作品などがある。



今北仁 HITOSHI IMAKITA <http://www.a-a-o.jp>

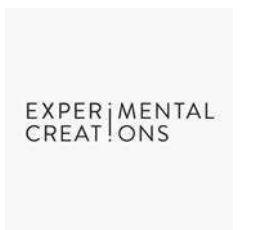
2006年A.A.O設立
2010年よりレディースウェアを中心とした展示会を行っている。
近年では、病院・ワークウェア等のユニフォームデザインも手掛けている。



四方謙一 KENICHI SHIKATA <http://shikatakenichi.com>

2004年より野老朝雄氏に師事
2007年早稲田大学芸術学校建築設計科卒業。環境と呼応し、様々な状態や状況を繋げるための装置となる立体・平面作品を単純な幾何学や、素材自身が織りなすパターンを用い制作する。

主な出展に「第13回大分アジア彫刻展」優秀賞、「EAST WEST ART AWARD LONDON」Grand Prize、「第13回KAJIMA彫刻コンクール」銀賞、「神戸ピエンナーレ アートインコンテナ国際展」準大賞などがある。



Experimental Creations <http://experimental-creations.com>

—マテリアル実験やクリエイションの「プロセス」にフォーカスしたプロジェクト—

たくさんのデザインが溢れ差別化することが難しい今、ものづくりには新しい視点が求められています。このプロジェクトは、クリエイティブな発想で素材を実験することでデザインの可能性を広げていくことを目的としています。また、ものが生み出されるプロセスを提示していくことで、そのものの価値を感じてもらおうキッカケに繋がっています。

2013年にスタートし、これまでに若手デザイナー28組が参加しています。
ファウンダー・プロデューサー：上野侑美



「DESIGNART (デザインアート)」は、機能と美を兼ね備え、日常生活に寄り添い、感動を与えてくれるモノやコトを新たに定義した言葉であり、その素晴らしいを発信、共有していくための活動そのものの名前です。

「DESIGNART 2017」は、その活動の発表の場として、世界屈指のミックスカルチャー都市・東京の街全体(表参道・原宿・渋谷・代官山・六本木)をメイン会場に、世界中からデザイン、アート、ファッション、食、テクノロジーなどのDESIGNARTを

集めて開催される革新的なデザイン&アートフェスティバルです。



OPENING EVENT
2017.10.16 ~ 10.22
12:00-20:00pm

OPENING RECEPTION & TALK SHOW
10.16 18:00-20:00
CLOSING RECEPTION
10.22 18:00-20:00
東京都渋谷区神宮前 5-7-12

東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」A1出口より徒歩3分
東京メトロ副都心線・千代田線「明治神宮前駅」4番出口より徒歩5分
JR山手線「原宿駅」表参道口より徒歩10分

「TIERS」建物見学会のご案内 日時：10月21日(土)、22日(日) 10:00~16:00

「DESIGNART」の期間中に、建物の写真展示などを行います。辰の社員がご案内しますので、ぜひお越しください(予約不要)

19年目の創立記念日を迎えて 2017年10月1日

仲秋の候、「SHINCLUB」をご愛読の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

首都圏、特に城南地域を中心に展開しております弊社は、おかげさまで創業から19年目を迎えることが出来ました。これもひとえに、創業以来ご支援いただいておりますお施主様、建築家の皆様、更に協力業者の皆様のおかげとありがたく心よりお礼申し上げます。弊社は創業の志を忘れないため毎年10月1日を「創立記念日」としております。

お陰さまで皆様の暖かいご支援により、創業からの営業規模は概ね5倍と、順調に推移して参りました。

仕事の領域としましては、“こだわりある建築”の施工に特化していることからほぼ100%建築家の皆様の作品を手がけさせていただいております。

また、稀に官庁工事にも参画させていただいており、この度4年に一度開催される世界的なスポーツの祭典の建築工事をご下命頂き、着手いたしました。

一方で、「こだわり建築」の施工が故に、工期の遅延から品質の低下を招き、お客様や建築家の先生方からお叱りを受けることもあり、未だ「建築屋」を標榜するには道半ばの状況でもあります。

しかし当社はこの叱咤を激励と受け止め、真摯に反省し、創業からの「建築屋の辰」の志を思考して、これからもお客様に喜んでいただける建築に挑戦して参ります。

どうぞ皆様、これまで以上のご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



株式会社辰
代表取締役
森村和男

今年こそ、優勝狙います！「ZEN 社一丸大運動会」参加者募集中！

日時：2017年10月28日（土） 9:15am～（8:15am 受付開始）
会場：よみうりランド

おまちかね、今年もZENグループ恒例の「ZEN 社一丸大運動会」を開催します。昨年は惜しくも優勝を逃しましたが、今年は優勝旗を奪還すべく社員一同、頑張ります。

お客様、協力業者の皆様、ぜひ辰の社員とともにスポーツの秋を満喫してみませんか。

お問い合わせは、株式会社辰 本社 TEL:03-3486-1570 まで。
お待ちしております。



本間伸也先生が、債権法改正をフォローした『建物賃貸借契約書の法律実務<改訂版>』を出版されました



弊社施工の「自己責任の家Ⅰ」「自己責任の家Ⅱ」のオーナー、弁護士の本間伸也先生が、2014年に出版された「ビルオーナーのための建物賃貸借契約書の法律実務」の改訂版を出版されました。

改正個人情報保護法や最近の重要判例も踏まえ、わかりやすく解説されています。

ぜひご覧ください。
【編集：那須・本間法律事務所、発行：商事法務、
発売日：2017年8月12日、価格：4,200円（税抜き）】

「練馬 A 様邸 新築工事」 地鎮祭 2017年9月5日



木造住宅の建設が始まります。
桜の開花時期に完成予定です。

構造：W 造
規模：地上3階
用途：専用住宅
設計・監理：増谷高根
完成予定：2018年3月

「K・Hビル 新築工事」 上棟式 2017年9月7日



三軒茶屋駅近くのテナントビルが上棟を迎えました。

構造：RC 造
規模：地下1階、地上3階、塔屋1階
用途：店舗（飲食・物品）
設計・監理：田中義吉設計事務所
完成予定：2018年1月

「(仮称)代沢プロジェクト」 地鎮祭 2017年9月8日



工芸品を作るような感覚が求められる建物です

構造：RC 造 +S 造
規模：地下1階、地上3階
用途：専用住宅
設計・監理：マウントフジアーキテクツスタジオ
完成予定：2018年7月

編集後記

・あつという間に、選挙の運びとなってしまいました。めまぐるしく変わる政局、思いもかけない国外の状況、なにが起きてもお不思議ではないというのが、実感です。

(株)辰 通信 Vol.211 発行日 2017年10月10日 編集人：松村典子 発行人：森村和男
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450
E-mail: daihyo@esna.co.jp URL: http://www.esna.co.jp

「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。バックナンバーも掲載しています。
http://www.esna.co.jp/shinclub
スマホはこちらから →

